

2009年度 **最新** 大学入試問題

第1回

日本史最前線

講師：石川晶康（河合塾講師）

次に掲げたのは、古代の東国について記した簡単な年表である。よく読んで以下の問いに答えなさい。

〔年 表〕

- 旧石器時代 1946年、相沢忠洋によって関東ローム層のなかから石器が発見され、1949年の(ア)の調査で旧石器時代の存在が確実となった。
- 縄文時代 1877年、アメリカ人のモースによって(イ)が発掘された。
- 弥生時代 1884年、(ウ)で検出された土器の様式が、発掘地の地名から弥生土器と名づけられた。
- 古墳時代 478年、宋の順帝に(1) 上表文を送った倭王武と、(エ)出土の鉄剣銘に刻まれた「獲加多支鹵大王」、『日本書紀』等に記される(オ)は同一人物と考えられる。
- 飛鳥時代 672年、東国からの軍事動員に成功した大海人皇子(のちの天武天皇)は、大友皇子との皇位継承をめぐる内戦に勝利して即位、中央集権的な国家体制の形成を進めた。
- 奈良時代 701年、大宝律令の制定を受け、全国は五畿七道に行政区分された。このとき、現在の関東地方にあたる地域には、北側の(カ)、南側の(キ)という2道に(2) 7ヶ国が置かれていた。
- 律令制に基づく兵役のうち、(3) 九州の沿岸を守る(ク)には、多く東国から徴発された兵士が充てられた。『(ケ)』には、彼らや家族の詠んだ歌が収められている。
- 770年、称徳天皇の死により後ろ盾を失った(4) 道鏡は、(コ)に左遷された。

平安時代 939年、下総を根拠に勢力を拡大した平将門が国司と対立、(サ)(シ)
(ス)の国府を攻撃して新皇と称したが、同族の(セ)や藤原秀郷によつて滅ぼされた[(サ)は現在の茨城県の大部分、(シ)は現在の群馬県、(ス)は現在の栃木県に、それぞれほぼ該当する]。

1028年、上総で起こった(ソ)の乱を(5)源頼信が鎮圧し、源氏の東国進出のきっかけを作った。

問1 空欄(ア)～(ソ)にあてはまるもっとも適切な語句を、次から1つずつ選びなさい。

- | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| ① 稲荷山古墳 | ② 懐風藻 | ③ 北面の武士 | ④ 下野 |
| ⑤ 岩宿遺跡 | ⑥ 東海道 | ⑦ 平貞盛 | ⑧ 大森貝塚 |
| ⑨ 安倍貞任 | ⑩ 向ヶ岡貝塚 | ⑪ 大宰府観世音寺 | ⑫ 雄略天皇 |
| ⑬ 藤原純友 | ⑭ 東山道 | ⑮ 継体天皇 | ⑯ 常陸 |
| ⑰ 防人 | ⑱ 平忠常 | ⑲ 衛士 | ⑳ 万葉集 |
| ㉑ 武蔵 | ㉒ 上野 | ㉓ 大仙陵古墳 | ㉔ 下野薬師寺 |
| ㉕ 北陸道 | | | |

問2 問1で解答した空欄(ア)～(ウ)に当てはまる遺跡の所在地を、次から1つずつ選びなさい。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| ① 東京都 | ② 茨城県 | ③ 神奈川県 | ④ 群馬県 |
| ⑤ 埼玉県 | ⑥ 千葉県 | ⑦ 栃木県 | |

問3 次のうち、下線部(1)を掲載した書物の文章として正しいものはどれか。1つ選びなさい。

- ① 倭王あり、姓は阿每、字は多利思比孤、阿輩雞弥と号す。使を遣して闕に詣る。
- ② 倭人は帯方の東南大海の中に在り、山島に依りて国邑を為す。旧百余国、漢の時朝見する者あり。
- ③ 封国は偏遠にして、藩を外に作す。昔より祖禰躬ら甲冑を撰き、山川を跋涉して寧処に違あらず。
- ④ 夫れ楽浪海中に倭人有り、分かれて百余国と為る。歳時を以て来り献見すと云ふ。
- ⑤ 倭の国王帥升等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。桓靈の間、倭国大いに乱れ、更相攻伐して歴年主なし。

問4 次のうち、下線部(2)の(カ)(キ)の2道に属する7ヶ国について、正しく述べた組み合わせはどれか。1つ選びなさい。

- ① (カ)に武蔵・上野・下野, (キ)に相模・上総・下総・常陸。
- ② (カ)に武蔵・上野・下野・常陸, (キ)に相模・上総・下総。
- ③ (カ)に上野・下野, (キ)に相模・武蔵・上総・下総・常陸。
- ④ (カ)に相模・上野・下野, (キ)に武蔵・上総・下総・常陸。
- ⑤ (カ)に上野・下野・常陸, (キ)に相模・武蔵・上総・下総。

問5 次のうち、下線部(3)を統轄した官職の説明として正しいものを1つ選びなさい。

- ① 伊勢国鈴鹿, 美濃国不破, 越前国愛発に置かれ, 外敵の都への侵入を防いだ。
- ② 武官の人事や軍事を司どる。
- ③ 「遠の朝廷」と呼ばれ, 西海道諸国の統轄と外国使節の接待などを行った。
- ④ 京内宮中の警護を主要な任務とする軍事組織。
- ⑤ 蝦夷征討のため, 陸奥国に設置された役所。

問6 次は、下線部(4)の道鏡について説明した短文である。誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 761年, 孝謙太上天皇の病気治療を行った。
- ② 765年, 法王として仏教界の頂点に立ち, ついで太政大臣禅師に就任し政治の実権を握った。
- ③ 765年, 墾田永年私財法に基づく墾田開発を, 寺院を除いて禁止した。
- ④ 769年, 称徳天皇が, 宇佐八幡の神託を利用して道鏡を皇位につけようとしたが, 和気清麻呂らによって阻止された。
- ⑤ 772年, 都に返り咲くことなく左遷先で死去した。

問7 次は、下線部(5)の源頼信とその一族について説明した文章である。誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 清和源氏の出身で, 父は源満仲, 兄は源頼光である。
- ② 父や兄とともに摂関家の保護を得て, 武家の棟梁たる威勢を高めた。
- ③ 孫の義家とともに陸奥の豪族安倍氏と戦い, これを滅ぼした(前九年合戦)。
- ④ 陸奥守に就任した孫の義家は, 藤原(清原)清衡を助けて清原氏一族の内紛に介入, これを平定した(後三年合戦)。
- ⑤ 『後三年合戦絵巻』には, 義家が飛雁の列の乱れから伏兵を察知する場面がある。

(上智大学：神学部・経済学部/09年)

第1回 解答

問1 アー⑤ イー⑧ ウー⑩ エー① オー⑫ カー⑭ キー⑥
クー⑰ ケー⑳ コー㉔ サー⑰ シー㉒ スー④ セー⑦
ソー⑱

問2 アー④ イー① ウー①

問3 ③ 問4 ① 問5 ③ 問6 ② 問7 ③